

奄美群島枝手久島のアリ

福元しげ子¹・山根正気¹・山室一樹²¹ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館² 〒 894-0008 鹿児島県奄美市名瀬浦上 1385-2 一般財団法人自然環境研究センター奄美大島事務所

Abstract

Edateku-jima Island belongs to the Amami Islands, Central Ryukyus, Japan. Ninety-six ant species have been recorded from the Amami Islands, but no species from Edateku-jima Island. Ant collection on Edateku-jima Island was carried out by the Kagoshima University Museum in 2018, and ten species in nine genera were collected from the island.

はじめに

奄美群島の枝手久島は奄美大島の西方 400 m, 焼内湾の入り口にある面積 5.7 km² の無人島である。行政的には大島郡宇検村に属する (Fig. 1) (注 1)。島のほとんどは山林で、最高標高は 322 m である。

これまでに奄美群島から約 96 種のアリが記録されているが (Yamane et al., 1994; 山根ほか, 1999, 2014, 2016; 下野・山根, 2003; 原田ほか, 2013, 2015; 山根, 2015; 福元・山根, 2015; 福元ほか, 2016), 枝手久島からはアリ類の記録はない。

調査地と調査方法

2018 年 3 月 10 日宇検 (港) から漁船で島の東端に上陸し, ほど近い峰へ向けての尾根ぞいで,

見つけ採り, リターふるいなどによる調査を行った。サンプリングに費やした時間は約 2 時間であった。

結果と考察

今回枝手久島から 4 亜科 9 属 10 種のアリが採集され, 全てが枝手久島初記録である。これら全ての種は奄美大島や周辺の島々でも確認されており, 奄美群島の種の部分集合と考えられる。

短い時間でのサンプリングのため, 採集場所が海岸からほど近くの松枯れの倒木の多い攪乱地に限られてしまい, 本格的な森の中まで踏み込めなかった。そのため, 落葉層, 土中, 石下, 朽木などに多く見られるハリアリ, ウロコアリなどの種を見落としている可能性がある。これを補うべく次回の調査が待たれる。

枝手久島で採集されたアリの標本記録

今回採集された全種の採集データを以下に記す。種名はすべて学名で表した。標本数は個体数を働きアリ *w* で示し, 括弧内は点数 (ピンの数) である。採集者名は以下のように省略されている:

Fukumoto, S., S. Yamane and K. Yamamuro. 2019. Records of ants from Edateku-jima Island, the Amami Islands, Kagoshima, Japan (Hymenoptera, Formicidae). *Nature of Kagoshima* 46: 215–216.

✉ SF: The Kagoshima University Museum, 1–21–30 Korimoto, Kagoshima 890–0065, Japan (e-mail: k4048558@kadai.jp).

Published online: 20 November 2019

http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_046/046-045.pdf

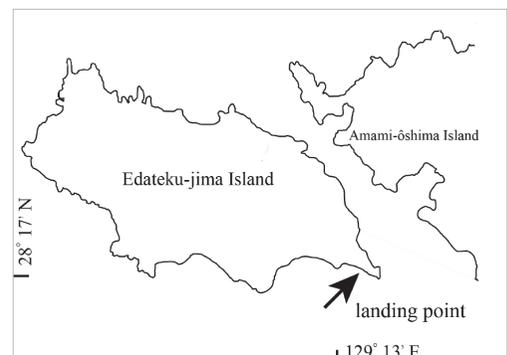


Fig. 1. Location of Edateku-jima Island in the Amami Islands.

SF, Shigeko Fukumoto ; SKY, Seiki Yamane. 必要に応じて生息環境、営巣場所、採集方法などの情報も含めた。標本はすべて2018年3月10日に採集された。

PONERINAE (ハリアリ亜科)

Brachyponera nakasujii Yashiro et al.

ナカスジハリアリ

4w(2), leaf litter; <50m alt., SKY.

Ponera tamon Terayama

ミナミヒメアリ

1w(1), 10.iii.2018, leaf litter; <50m alt., SKY.

MYRMICINAE (フタフシアリ亜科)

Monomorium chinense Santschi

クロヒメアリ

1w(1), cheese bait, SKY.

Pheidole fervens F. Smith

ミナミオズアリ

4w(4), leaf litter; <50m alt., SKY; 2w(1), cheese bait, SKY; 1w(1), leaf litter/surface soil, SF.

Pristomyrmex punctatus (F. Smith)

アミメアリ

1w(1), SF.

Temnothorax antera Terayama & Onoyama

フシナガムネボソアリ

1w(1), leaf litter; <50m alt., SKY.

Vollenhovia sp. (close to *V. benzai* Terayama et Kinomura)

タテナシウメマツアリ近縁種

4w(1), dry decayed wood, JP18-SF-4.

DOLICODERINAE (カタアリ亜科)

Technomyrmex brunneus Forel

アシジロヒラフシアリ

3w(1), dry decayed wood, JP18-SF-1.

FORMICINAE (ヤマアリ亜科)

Nylanderia ryukyuensis (Terayama)

リュウキュウアメイロアリ

8w4wq1m, decayed wood, JP18-SKY-043; 2w(2), leaf litter, SKY; 3w(1), dry decayed wood, JP18-SF-2;

2w(2), leaf litter, SF.

Paraparatrechina sakurae (Ito) サクラアリ

3w(3), leaf litter, <50m alt., SKY; 4w(1), leaf litter, JP18-SF-3; 2w(2), leaf litter, SF.

注1. 国土地理院平成30年全国都道府県市区町村別面積調 付3 島面積 (令和元年7月1日時点)

■ 謝辞

今回の調査を実施するにあたり、文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」、および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性プロジェクト)学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた。

■ 引用文献

- 福元しげ子・山根正気. 2015. 奄美群島諸島のアリ. *Nature of Kagoshima*, 41: 195-197.
- 福元しげ子・山根正気・平 瑞樹. 2016. 奄美群島と路島のアリ. *Nature of Kagoshima*, 42: 461-464.
- 原田 豊・福倉大輔・栗巣 連・山根正気. 2013. 港のアリ-外来アリのモニタリング-. *日本生物地理学会会報*, 68: 29-40.
- 原田 豊・榎本茉莉亜・西牟田佳那・水俣日菜子. 2015. 奄美群島のアリ. *Nature of Kagoshima*, 41: 199-208.
- 下野綾子・山根正気. 2003. 沖永良部島におけるアリの多様性. *離島学の構築* (鹿児島大学), 3: 11-29.
- 山根正気. 2016. 奄美群島には何種のアリがいるか, pp. 92-132. 鹿児島大学生物多様性研究会(編), 奄美群島の生物多様性~研究最前線からの報告. 南方新社, 鹿児島.
- 山根正気・福元しげ子・前田芳之・佐藤幸雄. 2016. 奄美群島加計呂麻島からのアリ類の記録. *日本生物地理学会会報*, 71: 261-267.
- 山根正気・幾留秀一・寺山 守. 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説, pp. 138-317. 北海道大学図書館刊行会. 札幌.
- Yamane, Sk., Iwai, T., Watanabe, H. and Yamanouchi, Y. 1994. Ant fauna of the Tokara Islands, Northern Ryukyus, Japan. *WWF Japan Science Report*, 2 (2): 311-327.
- 山根正気・榮 和朗・藤本勝典. 2014. 奄美大島名瀬の攪乱地のアリ相と活動レベルの季節変化. *Nature of Kagoshima*, 40: 123-126.